

## 平成20年度 第1回細胞診従事者講習会 アンケート集計結果

日 時：平成20年11月28日(金) 10:00～16:30  
 場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟5階 513室  
 テーマ・講師：「新しいカテゴリーの肺腫瘍細胞診」 北里大学医学部 呼吸器外科学 佐藤 之俊 先生  
 「子宮頸がんと`セスシステムに関連して」 癌研有明病院 婦人科 藤原 潔 先生  
 「`セスシステム2001(ASC-US,ASC-Hの細胞像について)」 癌研有明病院 婦人科 荒井 祐司 先生  
 「スライドカンファレンス」 藤原 潔 先生 荒井 祐司 先生

申込者数： 30 名(当日申込み 0名)  
 受講者数： 28 名  
 アンケート回答数： 23 名(回収率 82.1 %)

### 【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	7	6	6	3	1
%	30.4	26.1	26.1	13.0	4.3

### 【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	7	6	8	0	0	2
%	30.4	26.1	34.8	0.0	0.0	8.7

### 【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	1	1	17	5	0	0
%	4.3	4.3	73.9	21.7	0.0	0.0

### 【過去の本講習会参加の有無】

	ない	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	複数回
回答数(件)	8	4	5	0	2	4
%	34.8	17.4	21.7	0.0	8.7	17.4

## 【内容の評価】

テーマ		期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
新しいカテゴリーの肺腫瘍細胞診	回答数	5	17	1	0
	%	21.7	73.9	4.3	0.0
子宮頸がんとベセスダシステムに関連して	回答数	5	17	1	0
	%	21.7	73.9	4.3	0.0
ベセスダシステム2001(ASC-US,ASC-Hの細胞像について)	回答数	5	15	3	0
	%	21.7	65.2	13.0	0.0
スライドカンファレンス	回答数	6	13	1	3
	%	26.1	56.5	4.3	13.0

## 【内容の難易度】

テーマ		理解できた	ほぼ理解できた	理解できなかった	無回答
新しいカテゴリーの肺腫瘍細胞診	回答数	6	15	1	1
	%	26.1	65.2	4.3	4.3
子宮頸がんとベセスダシステムに関連して	回答数	8	13	1	1
	%	34.8	56.5	4.3	4.3
ベセスダシステム2001(ASC-US,ASC-Hの細胞像について)	回答数	7	12	3	1
	%	30.4	52.2	13.0	4.3
スライドカンファレンス	回答数	3	16	1	3
	%	13.0	69.6	4.3	13.0

## 【自由意見】

### 『新しいカテゴリーの肺腫瘍細胞診』

- ・肺における神経内分泌系を鑑別することが重要だと思った。

### 『子宮頸がんとベセスダシステムに関連して』

- ・現在の大きなトピックスである、ベセスダについての必要性、経緯を知ることが出来た。

### 『ベセスダシステム2001(ASC-US,ASC-Hの細胞像について)』

- ・ベセスダへ移行する際の問題点を認識することが出来た。
- ・LSIL ~とするものが少なく、ASC-USが多くなりそう。

LSIL ~ は今までと同じと言っていたが、LSILの中に大部分ASC-USが含まれるように聞こえる。

スライドのテーブルを見ると、ASC-USの大部分は であるように感じる。

### 『スライドカンファレンス』

- ・今回のベセスダに関連した細胞像を含め、日常で忘れがちな症例の提示もあり、明日から改めて注意すべき意識が生まれた。
- ・難しかったです。素直な心と目が必要だと思いました。為になりました。ありがとうございました。

## 【希望するテーマ・講師等】

- ・乳腺に関する症例(DCISについて)、中皮と中皮腫について。
- ・体腔液についての話が聞きたいです。(原発不明癌で、腹水・胸水に悪性細胞がみられる時の原発巣の推定のポイントなどが知りたいです。)
- ・ベセスダシステム2001(ASC-US,ASC-H)の細胞像について、別の方にも講演していただきたい。出来れば、サイパソリサーチセンター畠山さんに講義していただきたい。
- ・呼吸器(気管支鏡)細胞診について。
- ・膵腫瘍、胆管胆のう(胆汁)の細胞診を希望いたします。
- ・尿細胞診。
- ・子宮内鏡。
- ・内腹HyperplasiaとEMCaの違いについて(日常の細胞診業務において、組織診合致率100%にかなり近いと思います。慈恵医大附属病院 病院病理部 梅澤 駿。

## 【ご意見】

- ・配付資料、細胞像の写真が多いのでカラー写真にしてほしい。
  - ・会場が寒かった。担当者に話しをしたが、会場での設定が難しい所だったらしい。
  - ・部屋単位で、温度調節できる場所のほうが好ましいのでは？
  - ・多摩がん検診センターよりも、都心で行われたほうが参加しやすいです。是非またお願いします。
  - ・呼吸器と婦人科を一緒に行うのなら、同じ程度のものでほしい。
- ASCという日常的に必要なテーマなら、呼吸器もレアケースでなく、日常的に必要なものにしてほしい。今日の内容に健診であることは少なすぎる。スライドカンファのハンドアウトも欲しい。
- ・週末は仕事がたてこむので、可能なら週はじめが望ましい。
- 多摩がんより今回の会場の方が交通の便がよいので、今後の会場にはここを望みます。
- ・スライドカンファレンスは、とても難しかったです。
  - ・ASC-USとLSILの区別がわからなかったのですが、今回の講習会でASC-USとは何かということから説明していただいて、大変勉強になりました。
  - ・今回の資料の中に細胞像を提示したものがあがるが、このような時はカラーコピーにしてほしい。
  - ・貴重な症例をありがとうございました。ベセスダシステムも勉強になりました。

# 平成20年度 第2回細胞診従事者講習会 アンケート集計結果

日 時：平成20年12月18日(木) 9:00～16:10  
 場 所：東京都多摩がん検診センター 2階研修室  
 テーマ・講師：「乳腺細胞診で悪性と間違いやすい良性病変」 立川病院 笹井 伸哉 先生  
 「細胞診に役立つ分子生物学的検査法」 杏林大学 小松 京子 先生  
 「泌尿器細胞診の有用性」 習志野病院 関田 信之 先生  
 「尿沈査と細胞像との比較」 公立長生病院 西周 裕晃 先生

申込者数： 33 名(当日申込み2名)  
 受講者数： 33 名  
 アンケート回答数： 31 名(回収率 93.9 %)

## 【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	5	9	10	5	2
%	16.1	29.0	32.3	16.1	6.5

## 【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	9	5	8	4	0	5
%	29.0	16.1	25.8	12.9	0.0	16.1

## 【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	4	0	23	4	0	0
%	12.9	0.0	74.2	12.9	0.0	0.0

## 【過去の本講習会参加の有無】

	ない	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	複数回
回答数(件)	4	10	7	1	6	3
%	12.9	32.3	22.6	3.2	19.4	9.7

## 【内容の評価】

テーマ		期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
乳腺細胞診で悪性と間違いやすい良性病	回答数	3	24	1	3
	%	9.7	77.4	3.2	9.7
細胞診に役立つ分子生物学的検査法	回答数	2	26	2	1
	%	6.5	83.9	6.5	3.2
泌尿器細胞診の有用性	回答数	14	16	1	0
	%	45.2	51.6	3.2	0.0
尿沈査と細胞像との比較	回答数	6	22	1	2
	%	19.4	71.0	3.2	6.5

## 【内容の難易度】

テーマ		理解できた	ほぼ理解できた	理解できなかった	無回答
乳腺細胞診で悪性と間違いやすい良性病	回答数	11	16	0	4
	%	35.5	51.6	0.0	12.9
細胞診に役立つ分子生物学的検査法	回答数	6	20	3	2
	%	19.4	64.5	9.7	6.5
泌尿器細胞診の有用性	回答数	12	18	0	1
	%	38.7	58.1	0.0	3.2
尿沈査と細胞像との比較	回答数	15	13	0	3
	%	48.4	41.9	0.0	9.7

## 【自由意見】

### 『乳腺細胞診で悪性と間違いやすい良性病変』

- ・興味のあるテーマだった。良かった。
- ・講義を受けられず、残念でした。

### 『細胞診に役立つ分子生物学的検査法』

- ・免疫染色が有用であった。症例の提示に絞って話しをしてくれた方が良かった。話がよくわからなかった。
- ・当てないでほしい。
- ・興味深かったけど、難しい。でも、覚えなければいけないでしょう。

### 『泌尿器細胞診の有用性』

- ・写真が大変きれいでした。
- ・理解しやすかった。臨床の立場から話が聞けて良かった。
- ・臨床の話が聞けて良かった。
- ・画像はなかなか見ることが出来ないの、大変良かったです。

珍しい症例でもわかるようになりたいです。

- ・滅多に聞けない臨床の話して良かった！
- ・臨床の意見と治療、画像の見方の基本がよくわかった。

## 『尿沈査と細胞像との比較』

- ・理解しやすく、興味深かった。
- ・基礎の基礎がよくわかって良かったです。尿細胞上皮気をつけてみたいと思います。
- ・とても参考になりました。
- ・とても参考になりました。一般検査の方に聞かれることがあるので、勉強になりました。

## 【希望するテーマ・講師等】

- ・乳癌取扱規約・第16版について 秋山 太 先生
  - ・婦人科など、もっといろいろな分野の臨床医の立場から、細胞診の有用性を語ってほしい。
- 今回の泌尿器の先生は良かった。
- ・髄液・体腔液
  - ・講習会前にインターネット等で、症例を見られるようにしてほしい。
- 各施設での病院の見方が分かるのではないのでしょうか？
- ・胆汁、腭液細胞診の良悪性の判定困難例についての検討など。
  - ・乳腺、子宮内膜、甲状腺、唾液腺。
  - ・子宮内膜の増殖性病変と癌との鑑別。中皮細胞と悪性中皮腫の鑑別。
  - ・体腔液にみられた、原発不明癌細胞の原発推定方法を教えてください。
  - ・甲状腺 伊藤病院の先生。
  - ・リンパ節、骨軟部腫瘍の細胞診。

## 【ご意見】

- ・とても勉強になりました。
  - ・開催時期を秋～冬ではなく、1年を通して定期的に行っていただけると嬉しいです。
  - ・どの内容もわかりやすく説明してくれたので、まだまだ経験不足の自分には勉強になりました。
- また参加させていただきたいと思いますので、宜しくお願いします。
- ・寒かった。
  - ・受講者の居眠りが気になりました。(面白くなかったのかな...?)
  - ・尿についての講義は良かったです。大変良かったです。
  - ・開催場所:都心希望。
  - ・非常に勉強になりました。是非、発展していったら...と思います。
  - ・細胞検査士の資格も持っていない、臨床検査技師の立場で参加させていただきました。
- 臨床医の目的、尿沈査、細胞診との違いなどがよくわかり、勉強になりました。
- また、こういう機会があったら参加させていただきたいと思います。
- ・画像診断の講習を希望します。
  - ・有意義でした。
  - ・とても良い講義だったと思います。ありがとうございました。

## 平成20年度 第3回細胞診従事者講習会 アンケート集計結果

日 時：平成21年1月14日(水) 9:00～16:10  
 場 所：東京都多摩がん検診センター 2階研修室  
 テーマ・講師：「子宮内膜の病理と増殖性病変における化生の位置づけ」 狭山病院 鈴木 雅子 先生  
 ：「縦隔腫瘍」 船橋医療センター 野本 靖史 先生  
 ：「内分泌系腫瘍と細胞診」 東京都多摩がん検診センター 岡野 匡雄 先生  
 ：「スライドカンファレンス」 東京都多摩がん検診センター 岡野 匡雄 先生  
 日本医科大学付属病院 村瀬 幸宏 先生

申込者数：16名(当日申し込み3名)  
 受講者数：19名  
 アンケート回答数：13名(回収率 68.4%)

### 【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	2	2	8	0	1
%	15.4	15.4	61.5	0.0	7.7

### 【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	1	3	4	2	0	3
%	7.7	23.1	30.8	15.4	0.0	23.1

### 【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	0	0	7	4	1	0
%	0.0	0.0	53.8	30.8	7.7	0.0

### 【過去の本講習会参加の有無】

	無し	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	複数回	記入なし
回答数(件)	2	2	5	1	3	0	0
%	15.4	15.4	38.5	7.7	23.1	0.0	0.0

## 【内容の評価】

テーマ		期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
子宮内膜の病理と増殖性病変における化生の位置づけ	回答数	3	9	1	0
	%	23.1	69.2	7.7	0.0
縦隔腫瘍	回答数	1	10	0	1
	%	7.7	76.9	0.0	7.7
内分泌系腫瘍と細胞診	回答数	2	9	0	1
	%	15.4	69.2	0.0	7.7
スライドカンファレンス	回答数	1	10	0	1
	%	7.7	76.9	0.0	7.7

## 【内容の難易度】

テーマ		理解できた	ほぼ理解できた	理解できなかった	無回答
子宮内膜の病理と増殖性病変における化生の位置づけ	回答数	4	7	0	2
	%	30.8	53.8	0.0	15.4
縦隔腫瘍	回答数	5	5	0	3
	%	38.5	38.5	0.0	23.1
内分泌系腫瘍と細胞診	回答数	3	5	1	4
	%	23.1	38.5	7.7	30.8
スライドカンファレンス	回答数	5	4	0	4
	%	38.5	30.8	0.0	30.8

## 【自由意見】

### 『子宮内膜の病理と増殖性病変における化生の位置づけ』

- ・聞き取りづらい。
- ・難しかった。
- ・化生変化の意義を興味深く解説していただけた。

### 『縦隔腫瘍』

- ・わかりやすかった。
- ・症例紹介が多く、興味深かった。

### 『内分泌系疾患の病理と細胞診』

- ・復習します。
- ・最初に基礎の解説をやっていただいたので、理解がスムーズだった。

### 『スライドカンファレンス』

- ・勉強になった。
- ・スタンダードな症例が多かったが、忘れていた所見などが思い出せて良かった。

## 【スライドカンファレンスについて改善してほしいこと】

- ・解答は指名制にしてはいかがですか？少人数の時ならば、全員に答えてもらってもそんなに時間はかからないと思います。

## 【希望するテーマ・講師等】

- ・乳腺・甲状腺・子宮内膜・唾液腺。
- ・体腔液(中皮腫)、子宮頸部(ASC-US)。
- ・脳及び神経系腫瘍。
- ・リンパ節細胞診(最新の見識などを交えて)。

## 【ご意見】

- ・出来れば、新宿(ハイジア)の方が行きやすい。
- ・土曜日だと出席しやすいです。資料だけでも頂きたいです。(知識が薄れてきたので勉強したいのですが、お休みがとれないです。)
- ・土日開催だと助かるのですが...

# 平成20年度 第4回細胞診従事者講習会 アンケート集計結果

日 時：平成21年2月10日(火) 9:00～16:00  
場 所：東京都多摩がん検診センター 3階 講堂  
テーマ・講師：ワークショップ「子宮体部及び甲状腺」

## 【鏡検実習及び質疑応答】

石心会 狭山病院	鈴木 雅子 先生
慶應義塾大学病院	亀山 香織 先生
東京顕微鏡院	石井 保吉 先生
(財)東京都予防医学協会	楠 奈々子 先生

## 【症例提供者】

PCLジャパン病理・細胞診	大塚 重則 先生
東京顕微鏡院	石井 保吉 先生
東京女子医科大学病院	金室 俊子 先生
伊藤病院	高橋 真帆 先生

申込者数： 48 名  
受講者数： 44 名(当日申し込み2名)  
アンケート回答数： 38 名(回収率 86.4 %)

## 【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	15	8	8	7	0
%	39.5	21.1	21.1	18.4	0.0

## 【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	6	6	11	5	3	7
%	15.8	15.8	28.9	13.2	7.9	18.4

## 【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	4	0	28	6	0	0
%	10.5	0.0	73.7	15.8	0.0	0.0

## 【過去の本講習会参加の有無】

	ない	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	回数未記入
回答数(件)	13	10	7	1	3	4
%	34.2	26.3	18.4	2.6	7.9	10.5

## 【内容の評価】

	期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
回答数	8	29	0	1
%	21.1	76.3	0.0	2.6

### 期待以上の理由

- ・多くの陽性例を見ることができたので、伊藤病院の標本は、とても綺麗でした。
- ・普段あまり正常～癌までじっくり標本を見ないので、意見や細胞の見方を聞いて参考になりました。大変勉強になりました。
- ・同じ診断名のもので、色々なパターンの症例の標本が見ることができて、大変勉強になりました。
- ・ルーチンに役立ちそうです。

### 期待どおりの理由

- ・多くの症例の鏡検できて良かったと思います。
- ・わかりやすい説明でした。
- ・普段あまり見れない症例を見ることができたから。鑑別ポイントを知れたから。
- ・ルーチンでは見ることができない検体を見せていただく機会があり、美しい解説もいただき感謝しております。今後もよろしくお願いします。
- ・ルーチンで見ることができない、生の標本を鏡検できるので、とても勉強になります。これからも、こういう機会を増やしていただけると嬉しいです。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございます。今後も定期的に参加させていただきたいと思いました。
- ・多数の標本を鏡検できた事で貴重な講習だった。
- ・1症例の時間が短いと思う。6分位必要な。

### やや不満の理由

## 【今後ワークショップで希望するテーマ】

	子宮頸部	子宮体部	乳腺	呼吸器	胸水・腹水	唾液腺	甲状腺
回答数	4	1	17	11	12	6	0

	リンパ腫	泌尿器	骨・軟部	消火器	その他
回答数	5	15	2	4	1

その他 婦人科LBC<sup>+</sup>セスタシステムの判断基準と合わせて、EIC 萎縮した方。

## 【ワークショップ形式の講習会は実施した方がよいと思いますか】

	はい	いいえ	記入なし
回答数	38	0	0
%	100.0	0.0	0.0

『はい』の理由：・普段勉強できないことができるので。  
・良かった。

## 【ご意見】

- ・1枚の標本を見る時間が短い。もう少し時間があると良いと思いました。
- ・実施日を休日にしていただけるとありがたいです。
- ・ワークショップでは、色々な症例が見れたのでとても参考になりました。  
1つ1つの症例の鏡検時間を、もう少し長くしてほしいです。
- ・平日でなく、日曜・祝日にやってもらいたい。
- ・平日はなかなか参加できないため、土日にもワークショップを開催していただけたら嬉しいです。
- ・貴重な症例を見せていただき、ありがとうございました。
- ・いつもありがとうございます。
- ・見る枚数を少なくして(解説をじっくり読めない)、1件あたりの時間を増やしてほしい。
- ・どうもありがとうございました。